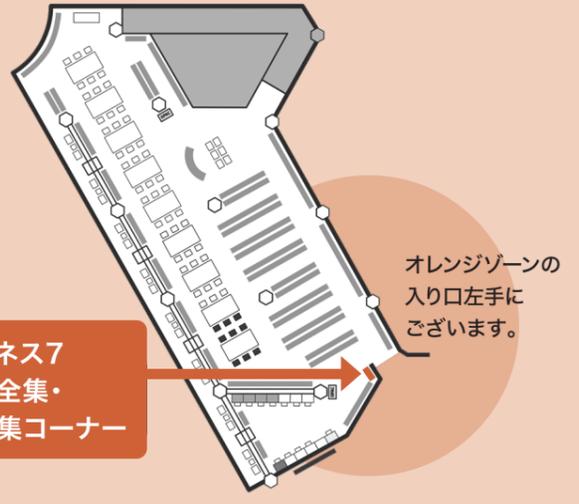


LIBRARY INFORMATION ライブラリー・インフォメーション

2Fオレンジゾーンに
ビジネス7「個人全集・著作集コーナー」
を設置しました

政治・経済・法律といった社会科学の分野で著名な人物が記した全集類をまとめ、新コーナーを設置しました。ぜひお立ち寄りください。



日比谷ボードゲーム部!



今回メインで行うのは、北欧を題材にしたゲーム「フィヨルド」です。タイル配置で地形を広げながら陣地を増やし、より多くの領土を確保していくゲームです。ボードゲーム未経験の方もお気軽にご参加ください。

- 日時: 12月2日(土) 14:00~16:30(13:45開場)
 - 定員: 20名(12歳以上・小学生不可)
 - 会場: 4階セミナールームA ■参加無料
- 事前申込みが必要です。お問合せはホームページまたは日比谷図書文化館 03-3502-3340(代表)まで

図書フロアスタッフの
おすすめの本を紹介します。

「教養も身に付けたいし、おしゃれもしたい!」
雅な印象の平安貴族ですが、現代の私たちと同じように、とても忙しかったかもしれません。さわやかな秋風のなか、「アツい」平安時代にタイムトリップしましょう。



- 『平安貴族サイヤクノ』
- 木村 朗子 著 ● 笠間書院
 - 2022年

展示 PICK UP

■ 3F グリーンゾーン 【哲学・歴史・自然科学】の本を集めたゾーン ~2024/1/12(金)

「大人だって遊びたい!」

日々忙しく時間に追われがちな大人。そんな大人にとって「遊び」や「趣味」は日々の生活を向上させ、心のゆとりを保つために必須の要素です。また世代を超えた友達や知り合いができるのも、大人にとっての「遊び」や「趣味」の醍醐味といえるでしょう。この展示をヒントに新しい楽しみを探してみたいはかがですか。



『東京無敵のビールめぐり』

- まのどのま 著
- 河出書房新社
- 2014年

『ブッシュクラフト 大人の野遊びマニュアル』

- 川口 拓著
- 誠文堂新光社 ● 2016年

11月の展示情報 ※展示情報は変更する場合がございます。

2F パープルゾーン
「都市開発と保存 ~日比谷通りの昔・今・これから~」(~11/17)
内幸町界隈では現在、再開発事業が行われています。本展示では、日比谷通り沿いの変遷を特に建物に注目して、都市開発に関する本も交えて紹介します。再開発で新しく作られるものや、文化財などの保存すべきもの、変わるものと変えないものに目を向けていただければと思います。

2F パープルゾーン
三角台
1階特別展 関東大震災100年「首都東京の復興ものがたり—未来へ繋ぐ100年の記憶—」関連展示 (~11/26)
関東大震災の発生から復興までの道のりを記録した資料や、今後起こりうる災害に備え、地震の知識や備蓄品など身を守る方法を学ぶ資料を展示します。

3F ブルーゾーン
「逃げるという戦略」(~2024/2/16) NEW!
「逃げる」という言葉にはネガティブな印象を持ちやすいですが、危機を察知して逃げることは自分を守ることに繋がります。この展示では良くないこととされている「逃げ」の認識を転換させる様々な回避戦略をご紹介します。

3F エレベーターホール
「新聞が記録した関東大震災のリアル」(~11/26)
関東大震災直後に発行された新聞を紐解きます。

千代田区立日比谷図書文化館 広報誌

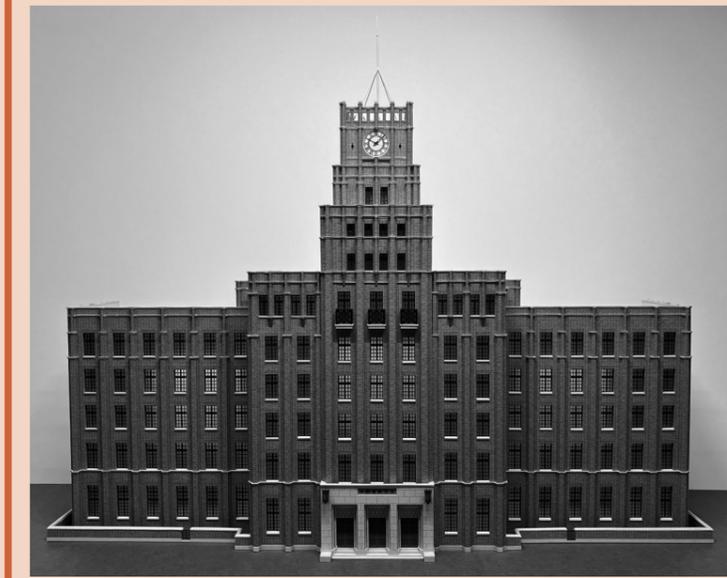


写真 上) 市政会館(正面) 写真 中) 日比谷公会堂(正面) 写真 下) 日比谷公会堂の外階段

東京都指定有形文化財(建造物) 市政会館・日比谷公会堂

建築模型を楽しむ。

4階
特別研究室で
11月19日(日)
まで展示

特別研究室企画展示「震災の記録と復興の足跡」(9月1日~10月31日)にて展示の市政会館・日比谷公会堂の建築模型(制作:アトリエ イマージュ 今村仁美)の展示期間を11月19日(日)まで延長します。東京市長だった後藤新平が構想し、安田善次郎が当時としては巨額の350万円を寄付して創立された東京市政調査会の活動拠点として建設された市政会館と、かつて「日本のカーネギーホール」と称された日比谷公会堂は1929年10月に竣工し関東大震災復興のシンボルとなりました。一つの建物で国会通り、公園側と二つの顔を持つ珍しい建造物で、日比谷公園のランドマークとして長く親しまれています。展示中の模型は完成当時の外観を再現したものです。窓の形状やバルコニーの装飾など現在の様子とは異なる点を探してみてください。

市政会館・日比谷公会堂の建築について
理解を深めるには

- 『写真と歴史でたどる日本近代建築大観 第3巻』
(石田 潤一郎 監修、米山 勇 監修 / 国書刊行会 / 2021年)
 - 『ここだけは見ておきたい東京の近代建築 1』
(小林 一郎 著 / 吉川弘文館 / 2014年)
 - 『東京市政調査会/後藤・安田記念東京都市研究所百年史』
(後藤安田記念東京都市研究所 / 2022年)
 - 『公会堂と民衆の近代—歴史が演出された舞台空間』
(新藤 浩伸 / 東京大学出版会 / 2014年)
- ※いずれも図書フロアで所蔵しています。

INFORMATION

- 開室時間: 平日10:00~20:00 土曜10:00~18:00
- 日曜・祝日10:00~16:00
- 会場: 4階特別研究室 ■ 入場無料

calendar 開館時間: 平日10時~22時 土曜10時~19時 日祝10時~17時 休館日

| 2023年 11月 | | | | | | | 2023年 12月 | | | | | | |
|-----------|----|----|----|----|----|----|-----------|----|----|----|----|----|----|
| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
| | | | 1 | 2 | 3 | 4 | | | | | | 1 | 2 |
| 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 |
| 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 |
| 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 |
| 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | | | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 |

掲載されている内容について変更や中止となる場合があります。最新情報は、ホームページ等をご確認ください。



11・12月の講座

〈参加申込〉電話(03-3502-3340)またはホームページにて、講座名、お名前(よみがな)、お電話番号をご連絡ください。当館1階の受付でもご予約を承ります。各講座ともに定員になり次第、締め切らせて頂きます。キャンセルの場合はご連絡ください。参加費は当日支払いです。千代田区民料金のある講座は、当日、図書貸出券や健康保険証など住所が確認できるものをお持ちください。

▶「日比谷カレッジ」とは、日比谷図書文化館が主催・共催で行うセミナーやイベントです。「江戸・東京」「本」「スキルアップ」「芸術」「センスアップ」の5つのカテゴリーに基づき、さまざまな「学び」と「交流」の場を提供します。

11/2 (木)

宝塚歌劇の創始者・小林一三の事業から紐解く 芸術文化都市・日比谷の魅力

講師:石坂 安希(早稲田大学演劇博物館招聘研究員)

2023年は、宝塚歌劇、阪急東宝グループの創始者・小林一三の生誕150周年という節目にあたります。小林は東京宝塚劇場の建設をもって、日比谷界隈を日本屈指の劇場街へと発展させました。大衆向けの上品な娯楽のメッカを築いた小林一三の偉業を通して、芸術文化都市・日比谷の魅力についてお話しします。



初代・東京宝塚劇場(千代田区所蔵)

- 日時:11月2日(木)19:00~20:30(18:30開場)
- 会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員:200名 ■参加費:1000円

11/14 (火)

星のソムリエ® 星空教室 第4回「宇宙の始まりと終わりの物語」

講師:皆川 敏春(星のソムリエ®みとか) 北崎 直子(星のソムリエ®みとか)

美しい星空を眺めていると、この宇宙にも始まりや終わりはあるのか?という素朴な疑問が芽生えてきます。科学の発展を促した末にビックバン宇宙を発見、星の世界は芸術や文化への影響にも大きく寄与してきました。今回は最新の宇宙論なども紹介しつつ、人間が考えた宇宙のシナリオを紐解いていきます。

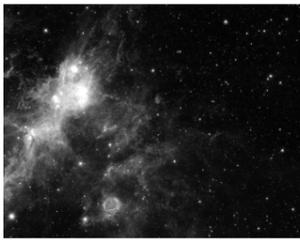


Image credit: 『Life and Death Intermingled』 NASA/JPL-Caltech/University of Wisconsin

- 日時:11月14日(火)19:00~21:00(18:30開場)
- 会場:4階 スタジオプラス(小ホール)
- 定員:60名 ■参加費:1000円

11/15 (水)

生まれかわった霞ヶ関 ~明治政府の夢だった官庁集中計画は 関東大震災後どう実現したのか~

講師:宮田 章(元建設省 大臣官房審議官)

不平等条約改正が最大の課題だった明治政府は中央官庁建設を夢見ますが、実現しませんでした。大正に入り、関東大震災は官庁施設にも甚大な損害を与え、分散していた中央官庁は霞ヶ関に集中します。現代につながる中央官庁街はどのように建設されたのか、その歴史をたどります。



「大東京 国政の中枢内務省より警視庁を望む(部分)」(東京都立図書館蔵)

- 日時:11月15日(水)19:00~20:30(18:30開場)
- 会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員:200名 ■参加費:1000円

11/22 (水)

アートのある生活 ~マイアートの見つけ方、買い方

講師:山本 冬彦(アート・ソムリエ)

「アートを買う」という行為は決して敷居の高いものでなく、ビジネスとの共通点も多く、作家を支援することにもつながります。本講座は、サラリーマンコレクターとして活躍してきた山本冬彦氏が自分好みのアートの見つけ方、買い方などアートのある生活についてお話しします。



- 日時:11月22日(水)19:00~20:30(18:30開場)
- 会場:4階 スタジオプラス(小ホール)
- 定員:60名
- 参加費:1000円

11/30 (木)他

日比谷オペラ塾 オペラ・あ・ら・かると bis(全2回)

オペラ初心者から愛好者までが楽しめる多彩なオペラの魅力を縦横に紹介する講座です。今シーズンから小ホールで開催します。全2回のうち、11月はワーグナー研究の第一人者・山崎太郎氏がワーグナー究極の愛のドラマ『トリスタンとイゾルデ』について読み解きます。



『The End of The Song』Edmund Leighton(1902)

(主催:フェニーチェ劇場友の会、共催:日比谷図書文化館)

- 日時:11月30日(木)19:00~20:30(18:30開場)

「トリスタンとイゾルデ」の真実

講師:山崎 太郎(ドイツ文学者・東京工業大学教授)

- 12月14日(木)19:00~20:30(18:30開場)

マリア・カラスという生き方

講師:井内 美香(オペラ・キュレーター)

- 会場:4階 スタジオプラス(小ホール)
- 定員:各回60名 ■参加費:各回1500円

12/20 (水)

時をかけて、映画音楽の歴史の旅へ 聖なる夜に映画音楽を ~サントラから読み解くクリスマス映画たち~

講師:志田 一穂(ラジオDJ、文筆家)

クリスマス映画こそが、世のクリスマス・イメージを植え付けた最初のきっかけ?イエス・キリストが降誕した日それを記念する祭日、それが“クリスマス”というイベントとなって、家族や恋人たちと過ごすことへと定着したのは、そこに映画の存在があったからと言われています。そんな解説と歴代のクリスマス映画やサウンドトラックを楽しく紹介していきます。



- 日時:12月20日(水)19:00~20:30(18:30開場)
- 会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員:200名
- 参加費:1000円

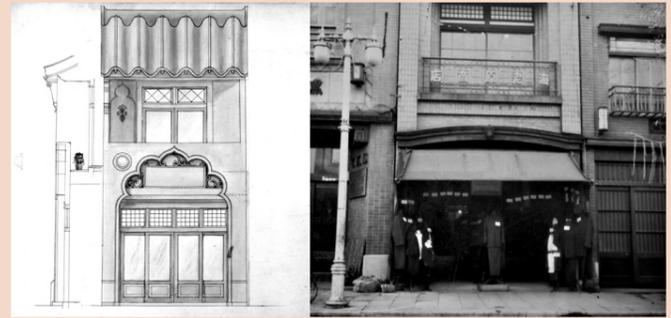
特別展 関東大震災100年

首都東京の復興ものがたり

—未来へ繋ぐ100年の記憶—

後期展示中!
11月26日(日)まで
観覧無料

首都東京に未曾有の被害をもたらした関東大震災から100年。発生日と同じ9月1日から始まった特別展は11月26日(日)までの開催となりました。10月20日(金)からは後期展示となり、初公開となる看板建築の「海老原商店関連資料」や共同建築、丸の内オフィス街を資料や最新の4D映像などからご覧いただけます。



海老原商店ファサードデザイン案

看板建築「海老原商店」

◎会期:開催中~11月26日(日)◎休館日:11月20日(月)

◎開室時間:月~木・土 10:00~19:00、金 10:00~20:00、日・祝 10:00~17:00(入室は閉室の15分前)

◎会場:日比谷図書文化館1階特別展示室 ◎主催:千代田区、千代田区教育委員会 ◎協力:日本建築学会 建築歴史・意匠委員会 帝都復興事業調査研究ワーキンググループ、日比谷図書文化館

特別展図録、好評販売中!

展示では紹介しきれなかった資料や情報、コラムなど100ページを超えるオールカラーの図録です。



- 販売場所:1階ライブラリーショップ & カフェ日比谷
- 価格:800円(税込)

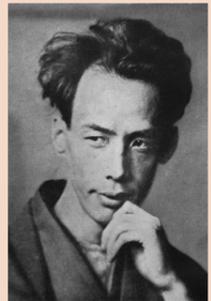
【特別展関連講座】

関東大震災に遭った文豪・学者たち

—芥川龍之介・柳田国男・折口信夫その他—

講師:畑中 章宏(作家・民俗学者)

関東大震災は文化人たちにも様々な影響を与えました。芥川龍之介は自警団として活動し、折口信夫は帰宅困難に陥りました。永井荷風は「運河の都」としての復興を提言し、ロンドンで惨状を知った柳田国男は、「災害は天罰」だと言う者を叱りました。未曾有の大災害に遭った彼らの反応から当時の世情を垣間見ます。



芥川龍之介
出典:国立国会図書館「近代日本人の肖像」
(https://www.ndl.go.jp/portrait/)

- 日時:11月11日(土)14:00~15:30(13:30開場)
- 会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員:200名
- 参加費:500円

文化の発信地となった 帝国ホテル・ライト館

帝国ホテルは、日比谷公園の東側で明治23年(1890)から営業している、日本を代表するホテルの1つです。令和5年(2023)は、その2代目本館にあたるライト館が誕生して100年の節目にあたります。今回の展示替えては、ライト館の建物とそこから発信された都市文化について、千代田区所蔵資料を中心に紹介します。



帝国ホテル・ライト館正面(千代田区所蔵)

◎展示場所:
1階常設展示室 V室

12th Anniversary

日比谷図書文化館 開館12年!

2011年11月4日、千代田区立日比谷図書文化館として図書館という枠にとらわれず、文化を伝えるミュージアム、学びの場であるカレッジ、そして当時としては珍しいカフェやレストランを併設した複合文化施設としてスタートしました。それから12年。コロナ禍による休館なども経験しましたが、2023年9月までに670万人以上の方にご来館いただいています。これからの20年、50年、100年...そして未来へ。皆さまの“想像力”や“好奇心”を刺激し「知の拠点」となる魅力ある施設を目指し努力してまいります。

From Chiyoda Public Library【千代田区立図書館からのおしらせ】

千代田区立図書館へ行こう!

ライブラリークイズ&スタンプラリー

クイズやスタンプラリーに参加しながら、秋の図書館巡りをお楽しみください。



防災クイズラリー

千代田区立図書館5館で“防災”に関するクイズを出題。全館を巡って全問解答した方には、景品をプレゼント!(数量限定)

スタンプラリー

千代田区立図書館5館のうち、3館のスタンプを集めた方には、景品をプレゼント!(数量限定)

- 会期:10月24日(火)~11月10日(金) ※各館の開館日時に準ずる。
- 場所:千代田区立図書館5館 ●参加費無料